

## 『政治分野における女性の参画と活躍を推進する議員連盟（仮称）』 設立趣意書

国会議員に占める女性の割合は、昨年12月の衆議院選挙後に微増はしたものの、衆議院で9%、参議院で16%、全体でも12%と依然低い状態にあります。列国議会同盟による調査によれば世界189カ国中127位（2014年1月1日現在、下院を対象※日本は衆議院）と、平均の2割を大きく下回り先進国では最低となっています。また、昨年10月28日に公表された世界経済フォーラムにおける「ジェンダーギャップ指数（2014年報告）」においても日本は142カ国中104位で、特に「政治への参加」は129位、「職場への進出」102位と順位が低く、先進主要7か国中最下位という結果になっています。加えて地方議会における女性議員の割合についても都道府県議会議員で8.7%、市区町村においても11.6%（2012年総務省調べ）と、同様の状況にあります。

国は「第3次男女共同参画基本計画」において、「2020年に指導的地位に女性が占める割合を少なくとも30%程度とする」との目標を掲げ、政治分野においても衆参各議員の候補者に占める女性の割合を2020年までに30%とすることを目標としています。

この目標を実現し国際平均を上回るためには、クォータ制の導入の検討等、女性議員を増やすためのより具体的取り組みを、強力かつ加速的に推し進めなければなりません。

- 一、2020年に衆参各議員の候補者に占める女性の割合30%を達成すること
  - 一、女性の政治分野における参画と活躍を促進するため、クォータ制等、各政党における自主的取り組みの推進及び法制化を検討し実現すること
  - 一、国会に限らず地方議会をはじめ、広く政治分野における女性の参画と活躍を促進する環境整備を推し進めること 等、
- を党派と性別を超えた知恵の結集により強力かつ加速的に推し進めることを目的に、議員連盟を立ち上げることとなりました。

以上の趣旨にご賛同いただき、議員連盟へのご入会ならびに積極的なご参加を賜りますようお願い申し上げます。

2015年2月吉日

発起人：稲津 久 郡 和子 重徳和彦 菌浦健太郎 高木美智代 中川正春  
野田聖子 柚木道義  
石橋通宏 行田邦子 神本美恵子 川田龍平 主濱 了 福島みずほ

「政治分野における女性の参画と活躍を推進する議員連盟（仮称）」

役員体制

(2015年2月 設立総会提案)

顧問	河村 建夫	(衆・自民)
会長	中川 正春	(衆・民主)
会長代行	郡 和子	(衆・民主)
	藪浦 健太郎	(衆・自民)
	高木 美智代	(衆・公明)
	福島 みずほ	(参・社民)
副会長	大口 善徳	(衆・公明)
	神本 美恵子	(参・民主)
	川田 龍平	(参・維新)
幹事長	野田 聖子	(衆・自民)
幹事	稲津 久	(衆・公明)
	辻元 清美	(衆・民主)
	石橋 通宏	(参・民主)
	主濱 了	(参・生活)
事務局長	行田 邦子	(参・無所属)
事務局次長	柚木 道義	(衆・民主)
	重徳 和彦	(衆・維新)